

セルリー (セリ科)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		タネまき			植えつけ			収 穫			

ル619」、これよりとう立ちがおそく淡緑色の「トップセラー」がよいでしょう。

栽培ポイント

冷涼な気候を好み、25度以上の気温では病気にかかりやすく、生育がわるくなります。その反面、低温にはわりあい強く、徐々に下がれば0度にも耐えます。

保水力があって肥沃な土だと、よく生育します。しかし、通気の悪い過湿地では草丈が伸びません。また、乾燥しやすい土だと草丈が低く、収穫までの日数もかかり、“す入り”が早くなります。

タネは非常に小さく、好光性ですから、平鉢や平箱に、ていねいにタネまきし、覆土はごく薄くします。育苗期間が長く、畑に植えつけるまでに約3ヵ月を要します。初めのうちは生育がおそいので、日陰の、風通しのよい、涼しい場所で、乾燥しないように管理します。少し育ったら一度鉢に植えますが、鉢上げ後も高温期であるため、半日陰か、寒冷紗をかけて苗を育てます。植えつけ後は、順調な発根と生育を促すために、たっぷりと水をやります。また、肥料切れにしないことも、じょうずに作るポイントです。

収穫は大きくなった株から、外葉を必要なだけ順次欠きとることもできますし、株ごと収穫してもかまいません。

榮 養

血行をよくするといわれ、他の野菜にくらべてミネラルが多く、ビタミンもありますが、主に緑葉部で、白色部分では少なくなります。

1 タネまき

平鉢かポリト口箱に、土と完熟堆肥を半々にまぜた床土を入れ、平らにならしてタネをまき、タネが見えなくなる程度にごく薄く覆土する。

まき終わったら新聞紙をかけ、乾燥しないように、風通しのよい涼しい所におく。7～10日で発芽する。

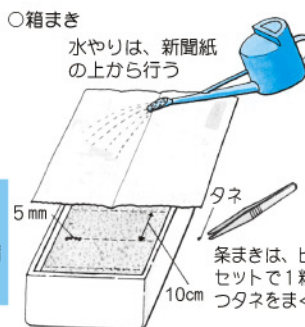
◆病気 軟腐病、
ウイルス病、葉枯れ病
◆害虫 アブラムシ

○鉢まき
少量の場合は
平鉢に、ばら
まきにする



○箱まき

水やりは、新
の上から行う



タネ

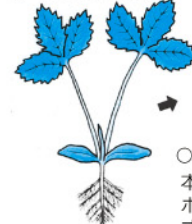


条まきは、ピン
セットで1粒ず
つタネをまく。

2 移植と鉢上げ

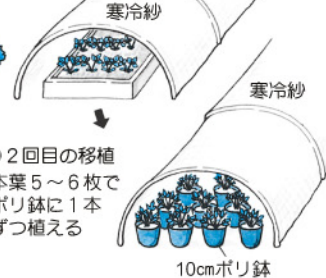
発芽後、密生部はピンセットで間引き、生長するに従って、2回移植する。1回目はタネまき後約30日、2回目はタネまき後55～60日に行う。移植後は、寒冷紗をかけて育苗する。水やりは、苗が活着するまでは十分に行い、その後は徒長を防ぐために、控えめにする。

○1 回目移植



本葉2～3枚の
ころ7～8cm間
隔にする

1

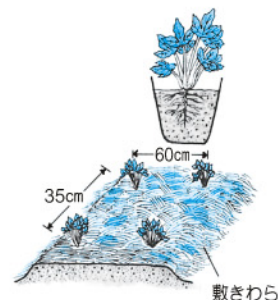


○2回目の移植
本葉5～6枚で
ポリ鉢に1本
ずつ植える

10cmポリ鉢

4 畑の準備

育苗日数80日内外で、苗を畑に植える。深植えしないように植え、たっぷり水をやる。

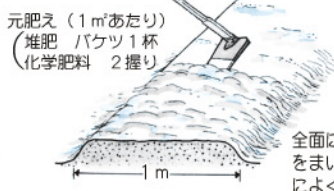


敷きわら

3 畑の準備

セロリは、根が深く張るほど大株に育つため土作りが特に重要。酸性に弱いため、あらかじめ苦土石灰を1㎡あたり2握りを施して、深く耕しておいた畑に、植えつけの1週間前に元肥えを施し、1m幅のベッド軌を作る。

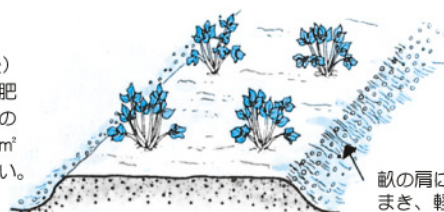
元肥え（1㎡あたり）
（堆肥 バケツ1杯
化学肥料 2握り）



全面に元肥え
をまいて、土
によくまぜる

5 追肥

定植20日後（本葉15枚前後）
ぐらゐを目安に、1回目の追肥
をして中耕する。2回目はその
1ヵ月後。施肥量は各回、1㎡
あたり化成肥料を1握りぐらゐ。



畝の肩に肥料を
まき、軽く耕す

6 收穫

植えつけ後60～70日で収穫になる。大きくなった株から1本ずつ欠きとって収穫すると、長期間収穫できる。収穫が遅れるほど茎にす入りが出る。



欠きとって収穫